

平成30年度第1回北海道文化財保護審議会議事要旨

- 1 開催日時：平成30年9月18日（火）13時30分から16時15分まで
- 2 開催場所：道庁別館8階会議室
- 3 出席委員数：11名
- 3 審議概要
 - (1) 開会
北海道教育庁生涯学習推進局長挨拶
 - (2) 協議事項Ⅰ
本年7月の委員任命後、初回の会議であることから、会長及び副会長を選出し、会長が各部会の構成委員を指名した後、部会長及び副部会長を選出した。
 - (3) 報告事項
次の項目について、事務局から説明した。
ア 前回の審議会開催以降に指定・登録等になった文化財について
イ 竪穴住居跡群保護に係るサハリン州との交流計画について
ウ 上ノ国町「宮の沢右岸出土品」の調査について
 - (4) 協議事項Ⅱ
ア 無形民俗文化財の指定候補物件に係る詳細調査の結果について調査委員から報告を受け、協議を行った。
協議の結果、当該物件に関し引き続き調査を継続することとなった。
※ 物件名については、所有者等が特定されるおそれがあるためホームページ公開時は除いています。
イ 道指定無形民俗文化財の指定候補物件について事務局から説明し、協議を行った。
協議の結果、指定候補物件について、委員の詳細調査を行うとともに、引き続き事務局で指定に向けた事務処理を進めることとなった。
※ 物件名については、所有者等が特定されるおそれがあるためホームページ公開時は除いています。
ウ 平成30年9月4日付けで北海道教育委員会教育長から北海道文化財保護審議会に対し、天然記念物「ヌマタネズミルカ化石」の指定について諮問されたため、審議を行った。
審議の結果、北海道文化財保護条例施行規則第57条に定める指定基準に該当することから、天然記念物（地質鉱物）に指定するよう答申することを決定した。
エ 有形文化財（建造物・美術工芸品）指定に向けた取組について事務局から説明し、協議を行った。
協議の結果、事務局で作業を進めることとなった。
オ 無形民俗文化財（民俗芸能・民俗技術）指定に向けた取組について事務局から説明し、協議を行った。
協議の結果、事務局で作業を進めることとなった。
カ 文化財保護法の改正について事務局から説明し、協議を行った。
協議の結果、事務局で作業を進めることとなった。
 - (5) その他の情報提供
世界文化遺産推薦候補の選定について事務局から説明した。